

小山市・結城市情報交換会を開催



5月21日、小山市役所において、令和元年度第1回小山市・結城市情報交換会が開催されました。両市の市長をはじめ執行部27人が出席し、各政策分野に基づく連携事業について、活発な意見交換が行われました。



友好都市盟約5周年った～！
これからも小山市と協力するった。

本市と小山市は、歴史的にも深いつながりがあり、市民生活や地域経済も密接しています。それらを基に、友好都市の盟約（平成26年10月2日）を結び、今年で5年目となります。さらに、小山市、下野市、野木町との3市1町で、「定住自立圏の形成に関する協定」（平成28年4月7日）を締結し、両市では、これらの広域連携を積極的に活用し、さまざまな分野で連携事業を推進しています。今年度は、11月に友好都市盟約5周年記念事業が予定されています。また、4月から職員の人事交流もスタートし、両市の友好関係が発展していくよう新しい取り組みも始まっています。

【政策分野別主な取組一覧】

連携事業	政策分野	情報交換会で報告・提案された事業
友好都市	企画・行政・生活	盟約記念事業、交通安全啓蒙活動の推進、2市間の情報共有、収納率向上のための相互協力
	経 済	土地改良事業、田んぼアート、農業関係連絡会の設置、農業者相互交流など
	建設・水道	鬼怒川と田川の合流部における水門・堤防の整備
	教 育	青少年非行防止・巡回パトロール
定住自立圏	生活機能の強化	ワーク・ライフ・バランスの推進、本場結城紬を活用した観光振興、農畜産物の6次産業化と輸出に関する連携・推進、畜産防疫情報の交換・連携、地域医療連携体制の充実強化、子育て支援体制の充実、病児保育事業の連携、生涯学習を通じた交流推進、文化施設・社会教育施設などの相互利用、スポーツ施設共同利用のネットワークの構築、図書館ネットワークの構築推進、大規模災害における相互協力、消防体制の連携強化、水道災害時相互応援活動の推進など
	結びつきやネットワークの強化	情報の共有などによる業務改善・情報発信力の強化、圏域内交流イベントの開催、婚活事業の連携・推進、市民活動の交流促進連携事業の実施など
	圏域マネジメント能力の強化	圏域内職員の人事交流（4月より実施）など

問 市企画政策課 | ☎ 34-0404



『7月7日は「川の日」です。』
これは、七夕伝説の「天の川」のイメージや季節的に水に親しみやすいことから定められました。人と川との豊かなふれあいについて、もう一度見直し、きれいな川を守りましょう。

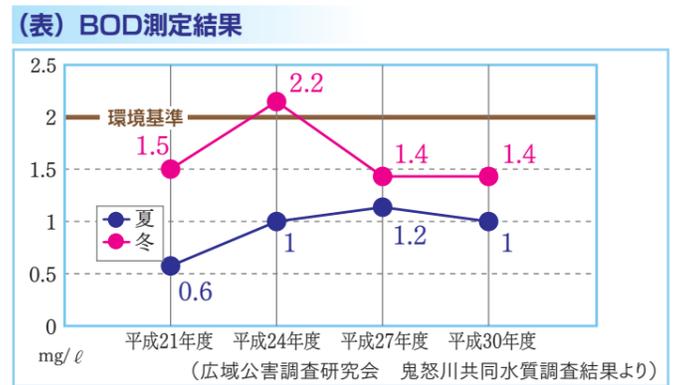


鬼怒川（久保田栄橋付近）の風景

鬼怒川の水质測定結果をお知らせします。結城市の北東から南東を流れる鬼怒川。この流れは、日光市に源を発し、県南部の守谷市で利根川に合流します。鬼怒川には多くの生き物が生息しており、水質状況では、きれいな川に分類されています。市では、年2回夏と冬に鬼怒川の水質測定を行っています。下表は久保田栄橋付近における鬼怒川の※BOD測定値（平成21年度・平成24年度・平成27年度・平成30年度）を表したものです。これを見ると、夏は全ての年度で環境基準を下回っており、冬は平成24年度に環境基準を超えています。それ以外は下回っています。県の調べによると、川の汚れの主な原因は家庭から流れる生活排水が5割を占めているのが現状です。河川は私たちの共有財産です。私たちの大切なこの川をいつまでもきれいに保つために、公共下水道への加入や合併処理浄化槽の設置など生活排水対策にご協力をお願いします。また日常生活において水を汚さない工夫をすることで、大きな効果がありますので、実践してみましょ。河川にごみを捨てるのも汚染の原因になりますので、ごみのポイ捨てはやめましょ。

★私たちにできる「水質浄化」

- 調味料や油の付いた食器などは、ティッシュなどで拭き取ってから洗いましょ。
- 食用油は流さず、凝固材で固めたり、新聞などに吸わせて捨てましょ。
- 米のとき汁は養分があるので、植木の水やりに利用しましょ。
- 生ゴミは三角コーナーに入れて、細かいゴミを流さないようしましょ。
- 洗剤やシャンプーは適量を使いましょ。



※用語説明
○BOD（生物化学的酸素要求量、Bio Chemical Oxygen Demand）……水中の有機物が微生物により分解されるときに必要な酸素の量。一般にBODの数値が大きいほど水が汚れていることを意味します。
○環境基準……人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、国が定めた基準。水質のほか大気、土壌、騒音の環境基準があります。

問 市生活環境課
☎ 34-0410

